

国際ビジネスセンター主催 第1回 大学×企業交流会『留学生の本音を探る』を開催

国際ビジネスセンターは2014年7月17日（木）、名古屋校舎にて第1回 大学×企業交流会『留学生の本音をさぐる -----いかに留学生を採用し、活用できるのか？-----』を開催しました。

この交流会は、「日本企業側からみる外国人留学生に対するイメージ」と「留学生側からみる日本企業に対するイメージ」との間のギャップについて問題提起し、本校所属の中国、台湾、タイ、マレーシア、ベトナム出身の留学生20名と10社の企業様との双方向的な議論が約2時間にわたって展開されました。

「なぜアジア系スタッフはすぐに辞めるのか？」

「仕事に対する考えかた」

「日本企業の“育てあげる”風土 VS その現実」

「どんな条件なら仕事を続けたいのか？」

「どんな仕事がしたいのか？」

「帰国を考える要素とは？」

「留学生が抱く日本で就職することの不安とは？」

「どのような部分に日本企業の魅力を感じるのか？」

などのトピックについて、本音レベルで話しあわれました。議論の最後には「日本企業はいかに対応していくべきか？」についてそれぞれ、結論が導きだされました。

今回、参加した企業様からは、

「直接留学生の意見を聞くいいチャンスだった」

「意外に日本企業は留学生に働きかけていない現実がわかりました」

「学生の方が、たいへん率直であったのでよかった」

「こうした学生さんの生の声を他の企業に聴かせたい」

「過去の留学生との違いを教えていただき参考になりました」

「留学生たちの前向きさは感じるのですが、頭がデカくなりすぎているのではないか？」

「企業側と留学生の歩みよりが大切だと思った」

「今後も継続してやっていただきたい」

などの感想を頂きました。

交流会後には、本校のキャンパスレストランにて懇親会が行われ、和気あいあいとした雰囲気の中で、互いの理解を深めました。

「留学生の本音をさぐる」交流会は、今後も定期的に開催していきます。ご興味のある企業様は、当センターへお問い合わせください。

